



防災特集

大井第二地区に必要な防災や備えについて知るために、品川区役所の防災まちづくり部防災課の井上さんに、詳しいお話をお聞きしてきました。【取材：関、江島、関口】

大井第二地区のリスクって？どんな備えが必要？

防災地図で大井第二地区内を見ながら井上さんに地震による津波のリスクは比較的低いことを教えていただきました！ただし戸建て住宅が密集している地域は火事による被害の拡大、立会川が地下を通る地域は、下水が溢れるリスクがややあるそうです。しかし、品川区は基本的に地震による自宅の倒壊や延焼火災など以外の危険性が少なく、そのまま生活することに不安がない場合は在宅避難が推奨されます。そのため、1週間分の備蓄をローリングストックで用意しておくことを勧めていただきました。備蓄品のリストはしながわ防災ハンドブックに記載があり、参考になります（同居人数や性別、年代、ペットの有無を入れると必要な備蓄品の量分かる「東京備蓄ナビ」の利用もおすすめ！）。

もし区内で震度5弱・5強の地震が発生した場合は、自主避難施設が開設されます。大井第二地区の最寄り伊藤学園で、自宅での滞在が不安な方は一時的に利用できるそうですよ。

情報収集の方法

品川区の災害状況や避難場所・避難場所の開設状況はホームページやケーブルテレビ品川、FMラジオなどでも分かります。メールやLINEの登録もおすすめ！

しなメール

品川区のお知らせや防災情報をメールで受け取れます。



品川区公式LINE

防災情報をLINEで受け取れます。



防災課職員の井上さん

令和6年10月から令和7年3月まで品川区は携帯トイレ1人20回分（便器カバー、汚物処理袋、凝固剤、保管袋）と改訂版しながわ防災ハンドブック1冊（PDF版あり）を各世帯に配布。

東京備蓄ナビ



しながわ防災体験館
品川区役所 防災センター2階
午前9時～午後5時
月・土・祝日・年末年始休館
防災用品展示なども充実！

おすすめイベント

12/8（日）
区内一斉防災訓練実施



地域の防災イベントに参加してきました！



9月23日に西大井広場公園で大井第二地区の「集まれ！防災イベント！！」が開催されたので行ってきました。会場には、煙体験・起震車体験・簡易トイレ組み立て体験など10個以上のブースが設けられ、楽しみながら防災について学べるように、スタンプラリーが開催されていました。バケツリレー競争やアルファ化米などの災害食の試食もできました。防災イベントに家族で参加することにより「実際に発災したらどうしよう」ということを話し合う、いいきっかけになると思います。



普段から持ち歩きたい お守りリスト

いつ起こるか分からない災害のために、通勤・通学、外出時には防災ポーチや防災ボトルを携帯して持ち歩くのもおすすめです。中身は100円ショップで揃えたり、家にあるものを入れたり、自分たち好みにカスタマイズしましょう。

✓	品名
	絆創膏
	マスク
	ウェットティッシュ
	携帯トイレ
	現金（小銭）
	モバイルバッテリー
	ペン＆メモ帳
	バンダナ
	非常食（ようかん、飴、シリアルバーなど）
	ゴミ袋（レジ袋）
	ミニライト
	ホイッスル
	連絡先カード（身分証明書のコピーや家族写真）

	常備薬
	防寒対策グッズ（防寒用シートやカイロなど）
	レインコート（ポンチョ）

これで重さ500gほど。電車で長時間閉じ込められた時や渋滞時など、日々のトラブルにも有効です。他にもめがね（コンタクトレンズ）の予備など個人で必要なリストを作ってくださいね。

